

科目名	日本語2	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	佐々木 香織		実務経験の有無		○
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-01-A-0-150008	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	日本語が母語でない学生が、日本語でレポートや論文が作成できるようになることを目指す。また、日本語でのディスカッションやプレゼンテーションができるようにすることを目指す。国際社会に必要な知識・技能を身に付ける。予復習に必要な時間数→講義科目は2時間ずつ。語学演習は1単位につき、30分ずつ。				
学修到達目標	学生のレベルが同じでない場合もあるので、各自で立てた目標に向けて、できるだけの支援をします。				
実務経験との関連性	国際交流基金シドニー日本文化センターでの教員研修や講座運営での経験を活かした日本語指導				

授業計画	
第1回	レベルチェックテスト
第2回	日本語1で利用したテキストなどの要約、感想などを書く
第3回	自分で書いた文章の間違いを直し、なぜ間違えたのか考える。

第4回	日本語1で利用したテキストなどの要約、感想などを書く
第5回	日本語1で利用したテキストなどの要約、感想などを書く
第6回	自国紹介のプレゼンができるように準備する。
第7回	自国紹介のプレゼンができるように準備する。
第8回	作成した自国紹介のプレゼンをする。意見交換する。
第9回	日本での暮らして気付いたことや感想などをレポートに書く。(小テスト)
第10回	日本語1で利用したテキストなどを利用して、要約文やレジュメの書き方を学ぶ1
第11回	日本語1で利用したテキストなどを利用して、要約文やレジュメの書き方を学ぶ2
第12回	日本語1で利用したテキストなどを利用して、要約文やレジュメの書き方を学ぶ3
第13回	自分で作ったレジュメをつかって、発表する。意見交換。

第14回	自分の決めたテーマで最終レポートを書く。そのさい、最低二人の日本人にインタビューをし、その内容をレポートに入れること。(インタビューで聞きたいことをまとめる。)ただし、状況によっては、別の課題に変更する。
第15回	インタビューの内容を入れて、最終レポートを書く。ただし、状況によって、レポートの内容は変更される。
第16回	最終レポートを提出する。

授業時間外の学習

【予習】時間・内容	予習2時間。意味の分からない単語を調べる。関連するテーマの文献を読むなど。
【復習】時間・内容	復習2時間。授業でわからなかった点を調べたり、質問したりする。関連するテーマの文献を読んだり、練習問題を解いたりする。

成績評価

評価基準・方法	評価の目安：定期試験40%、授業内レポート30%、授業態度30%
フィードバック方法	レポートや課題は添削後返却します。テストは希望があれば、採点后解説を記入の上、返却します。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	学生と相談して決めます。
受講上の留意点等	授業に参加するだけでなく、事前に予習が必要です。たくさん書いたり読んだり話したりします。必要に応じて、日本語能力試験の対策や、専門に関する日本語の指導もします。積極的に要望を出してください。
JABEE	